

キッピッピ

三田市立図書館

2023年

9月

ほん

あたらしい本がはいったよ



ポストがぽつん

北川 チハル／文 小池 アミイゴ／絵
アリス館 2023年6月 Eコイ

のはらにぽつんとたっていた、あかいポスト。ながいあ
いだつかわれず、ねむっていたある日、あらしにあって
うみにおちてしまいます。さかなたちはおどろきますが、
ポストが「おてがみをだすもの」だとしり、じぶんたちも
おてがみをだすことにします。さかなたちが、かいがら
のおてがみをポストにいれると…。



わたしはかわいいマヌルネコ

たけがみ たえ／作
あかね書房 2023年6月 Eタケ



モンゴルのだいそうげんを、もさもさとしたすがたであるくマヌルネコ。せかいでいちばん、ふるくからいるねこなんですって。うんどうがにがてなマヌルネコですが、いろんな「じゅつ」をつかって、じょうずに生きています。さあ、まずは、しっぽをフリフリ、フリフリフリ…。これはいったい、なんのじゅつなのでしょう。

《本館》 そらを見あげて

あき秋、そらのきれいなきせつです。あおいそら、いろんなかたちのくも、よるにはほしもたくさんみえますよ。さあ、しんこきゅうをしてそらを見あげてみませんか。



きょうのそらはどんなそら

ふくだ としお+あきこ (accototo) / 文・絵

大日本図書 2009年9月 Eフク

こねこがそらを見あげています。よあけから日がおちるまで。すずめがとんでいたり、くもがながれたり、ゆうだちがきたり。あたりまえのふうけいがとてもきれいな油絵でえがかれています。あなたのまちはいま、どんなそら？

《ウディタウン分館》 わくわく！ もーっとしりたいな

なにからできているのかな？これってなんだろう？みんなのしりたいきもちをくすぐる本をあつめました。

しらべるちがいのずかん

おかべ たかし / 文 やまで たかし / 写真

東京書籍 2021年9月 03/21

生きものやたべものの、いがいなちがいを見くらべてみよう。おなじようなものも、よくにたものも、おなじなまえでもじつはちがうものも…？「どこが、どうちがう？」を見つけるたのしさに、きつとむちゅうになるはず！



《藍分室》ぱくぱく もぐもぐ いただきまーす！

ふっくらごはんに、ふんわりオムレツ。あま〜いケーキにつめたいアイスクリーム。おいしいたべものがでてくる本をあつめました。

カレーだいおうの まほう

石倉 ヒロユキ / 作・絵

ひさかたチャイルド 2011年7月 Eイシ

インドからやってきたカレーだいおうが、かれないまほうをおみせするよ！だいおうがふしぎなじゅもんをとえると…。さあ、カレーだいおうのおいしいカレーをめしあがれ！





ほん みつけたよ！こんな本



かていきょうし ネコの家庭教師

南部 和也／さく さとう あや／え
福音館書店 2017年2月 Nナン



ある日、市場にいたネコのベスは、大きな門のあるおやしき
にまよいこみます。ベスは、女王へいかの孫のトリアひめに
ひろわれて家庭教師としてはたらくことになるのですが…。
おてんばなトリアひめをりっぱなおひめさまにするために
がんばるネコのおはなしです。

のうさぎ ミミオ

舟崎 克彦／作者 あかね書房 2005年2月 Nフナ



うさぎのミミオは、「なんだ、こりゃ…。」とギザギザとがった
ふしぎなおとしものをひろいました。もちぬしをさがすために、
あなぐまやまあらしたちをたずねますが、みんなそれぞれちが
うことを言うのです。困ってしまったミミオでしたが…。ふしぎ
なおとしものは、いったい何でしょうか？おはなしを読んで答え
をさがしてみてね。

としょかんいん きい 図書館員のお気に入り♪ 「とけいのおうさま」

こすぎ さなえ／作 たちもと みちこ／絵 PHP 研究所 2015年11月 Eタチ



すきなだけねていたい、すきなだけあそびたい。とにかくす
きなことをじかんをきにせずころゆくまでしたーい！
それをやったとけいのおうさまのおはなし。たっぷりねぼ
うして、いっぱいあそんで。すきなことをすきなだけ。さい
しょはたのしかったけれど…。ステンドグラスのようなあ
ざやかな色の絵もすてきな絵本です。

こんげつ かみ
今月の紙しばい

ニャーと ようかいねこ

武田 美穂 / 脚本・絵

童心社 2023年7月 K二



なかよしのけんたくんとけんかして、おうちをとびだしたニャー。こうえんでであった、はいいろねこにさそわれて、ねこがみさまのすむきみのわるいおばけやしきへいくことに。そこではたくさんのねこたちが、「ようかいねこ」になるためのしゅぎょうをしていました。さあ、ニャーはようかいねこになれるのでしょうか。それとも…？

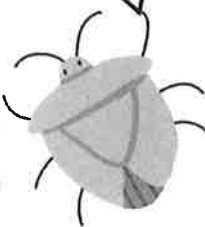
なるほど！

いきものまめちしき

あまりにもくさいにおいをだすことから「クサムシ」ともよばれる「カメムシ」をしていますか。

カメムシはてきから身をまもるために、からだのなかからつよいにおいのえきをだします。それは、小さいれものにカメムシをとりこめると、自分が出したにおいでしんでしまうこともあるぐらいのつよさです。また、カメムシにははでな色やもようのものもいますが、これはてきに「くさいからちかづかない方がいい」としらせることで身をまもっているのです。

こんげつ
 今月は
 カメムシ
 だよ！



日本には、木や草の上、水中でくらすものなど800種以上のカメムシがいます。はりのような口で草のしるをすうもののほか、はりから液をながしこみ、えものからだをとかしてすう肉食のものもいます。

参考文献 「ドキドキいっぱい！虫のくらし写真館17 カメムシ」

高家 博成 / 監修 海野 和男 / 写真 大木 邦彦 / 文 ポプラ社 2005年3月 486/05